



▲専門指導員の指導を受け、楽しみながらスポーツを体験しました

運動で心身をリフレッシュ

登米で無料スポーツ体験会

4月にスタートする総合型地域スポーツクラブ「とよまスポーツクラブ蔵っこ」主催の「第3回無料スポーツ体験会」が3月7日、登米公民館で行われました。この体験会は、健康づくり事業の一環として行われていて今回は、「健康体操体験」と「ヨガ体験会」を開催。当日は両教室に各20人が参加し、専門指導員の指導のもと1教室50分のスポーツプログラムを体験し、優しく楽しい「健康体操」と初心者でも簡単にできる「ヨガ」それぞれの体験を通して、心身共にリフレッシュしていました。

大合唱で元気はつらつ!

南方で社協ふれあい交流会

高齢者の皆さんが地域の皆さんと一緒に懐かしのメロディーを歌う、ふれあい交流会「ひばりの会」が3月4日、南方公民館で婦人団体の皆さんの協力のもと開催されました。交流会には63人の高齢者が参加し、鎌田枝利さんのピアノ伴奏と、永倉美希子さんの指揮に合わせ、昔を思い出しながら「高原列車は行く」や「星影のワルツ」など全12曲を元気に合唱したり、婦人会の皆さんの「登米音頭」を觀賞したりと、歌に踊りに楽しいひとときを過ごしていました。



▲永倉さん(右)から指導を受け、皆で懐かしい曲を合唱しました

郷土の品にふるさとを思う

第27回東京米山会総会・懇親パーティー

関東一円に住む米山地区出身者で構成される東京米山会の第27回東京米山会総会ならびに懇親パーティーが3月6日、東京都江東区のアンフェリオンで開催されました。総会には会員約100人が参加したほか、市からは市議会議員や関係者などが出席しました。総会后行われた懇親パーティーでは、カラオケや米山の物産品が当たる大抽選会などのイベントが開催され多めに盛り上がりました。参加した皆さんは、それぞれにふるさと米山の思い出話に花を咲かせ楽しいひとときを過ごしていました。



▲懇親パーティーでは、会員がふるさとを思い出し自慢の歌声を披露



▲牛乳パックを使い、みんなで上手にかわいいひな人形をつくりました

手作りのエコ人形でひな祭り

中田幼稚園でひな祭り会

女の子の健やかな成長を願い3月3日、市立中田幼稚園でひな祭り会が開催されました。同幼稚園は、平成21、22年度に宮城県金融広報委員会の指定を受け、人・物・自然とのかかわりを通して「すすんでものを大切に育てる幼児の育成」を進めています。今年のひな祭りでは、牛乳パックを使って手作りのひな人形作りに挑戦。園児たちは自分で作った、世界でたった一つの手作りエコひな人形と一緒に記念撮影した後、ひなあられやゼリーを仲良く食べ、すてきなひな祭りを過ごしました。



▲倉田先生の楽しい音楽とアッキーさんの不思議な手品を楽しみました

親子で運動と手品を楽しむ

豊里子育てサロンでお楽しみ会

豊里子育て支援センターで3月15日、21年度の最終事業が開催され、親子46人が参加しました。講師には、リトミック(音楽を使い身体的・感覚的・知的育成を行う指導法)の倉田朋美先生とピエロのアッキーを招き、倉田先生の音楽に合わせて、みんなでタマゴやサナギ、チョウのポーズをして、楽しみながら身体を動かしました。アッキーの手品では、何もないポケットからたくさんのビスケットを出したり、一瞬で花の色を変えたりする不思議な手品に、子どもから大人まで皆、真剣に見入っていました。

被災地に届け善意の心

東和中学校生徒がチリ地震被災者へ寄附

チリ地震の被災地の復興支援に役立ててほしいと、東和中学校生徒が3月11日、起業教育事業で得た売上金の一部の10万円を日本赤十字社へ寄附しました。当日は生徒を代表し佐藤駿介さんと佐藤有華さんが東和総合支所を訪れ、日本赤十字社東和分区長である東和総合支所長に手渡しました。今回の寄附金は、商品の企画から販売までを生徒自らが行う「起業学習」の一環として、昨年の東和の秋まつりで竹とんぼや炭製品などを販売した売上金の一部が送られたものです。



▲送られた善意の心は、日本赤十字社を通して被災地に届けられます